

呉の景気観測 (DI 方式)

—令和 7 年 12 月調査結果—

呉商工会議所

製造業・非製造業共に若干の改善に対し、先行きは厳しい状況。

—トランプ関税等による景気に対する不安が、非製造業全般で見通しを悪化させている—

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など 10 項目について
- ・令和 7 年 12 月を前年同月と比較
- ・令和 8 年 1 月～3 月の先行き見通しを令和 7 年 12 月と比較
- ・調査時期 12 月
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業 100 社 (回答 74 社、回収率 74.0%)

12 月の景況を見ると、下の表の通り、
総合（全業種）DI（良い～悪い）は△7.1→2.7 と、全体では前期に比べ、9.8 ポイント改善
業種別では、製造業は、68.4%の企業が横ばいの回答で、DI は△8.1→10.6 と 18.7 ポイント改善。
非製造業は、77.8%の企業が横ばいの回答で、DI は△6.1→△5.6 と 0.5 ポイント改善。

【DI 方式について】

DI（ディファュージョン・インデックス）は、各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向（「悪い」）をあらわす。
DI = (増加・好転等「良い」の回答割合) – (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

令和 8 年 1 月～3 月の先行き見通しでは、
総合（全業種）DI は 0.0→△4.1 と 4.1 ポイント悪化の見通し。
業種別では、製造業は、DI は 10.8→7.9 と 2.9 ポイント悪化の見通し。
非製造業は、DI は△12.1→△16.7 と 4.6 ポイント悪化の見通し。

総合（全業種）では、△7.1→△2.7 と、呉市の景況は前期に比べ、9.8 ポイント改善。しかし来期は、0.0→△4.1 と、4.1 ポイント悪化の見通し。

業種別概況 製造業・非製造業は共に改善している。12 月調査による令和 8 年 1 月～3 月先行き DI 数値は、令和 7 年 9 月調査による令和 7 年 9 月～12 月の先行き見通しに比べて製造業・非製造は共に悪化する見通し。

呉市の景況は、製造業では、航空機部品及び一部造船業、自動車部品が好調。

非製造業では、建設業は厳しい状況が続き、小売業・サービス業は共に景気に左右され先行き不透明である。

トランプ関税問題は、製造業・非製造業共に先行きが見通せず、設備投資に躊躇しているが、令和 8 年に地元自動車メーカーの主力車種の新型車が販売されることが発表され、自動車部品関連に明るい話題となっている

業種別景況 (DI)

	2025 年 9 月 実績	2025 年 12 月 実績	今 期			9 月調 10～12 月 見通し	12 月調 1～3 月 見通し	来 期				
			回答社数構成比 (%)					回答社数構成比 (%)				
								好転	横ばい	悪化		
総合（全業種）	△7.1	2.7	14.9	73.0	12.2	0.0	△4.1	10.8	74.3	14.9		
製造業	△8.1	10.6	21.1	68.4	10.5	10.8	7.9	13.2	81.6	5.3		
非製造業	△6.1	△5.6	8.3	77.8	13.9	△12.1	△16.7	8.3	66.7	25.0		
建設業	△28.6	△25.0	0.0	71.4	28.6	△28.6	△37.5	0.0	62.5	37.5		
卸売業	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3	△8.3	7.1	21.4	64.3	14.3		
小売業	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	△33.3	0.0	66.7	33.3		
サービス業	0.0	0.0	12.5	75.0	12.5	△12.1	△25.0	0.0	75.0	25.0		

呉市の業種DI(R6.3～R7.12)

